

令和2年度学校評価(年間評価)

学校名 大分雄城台高等学校

前年度評価結果の概要
成果
○組織的な授業改善による授業力の向上や個々の進路希望に応じた指導・添削等を行うことにより、全学年で学力の向上が見られた。
○生徒一人一人に応じた全教職員参加の進路指導体制の充実により、進路意識の向上が図れた。
○「雄城坂はあいさつの坂」の徹底や清掃指導により、保護者や地域の方々から挨拶や掃除などについて評価を受けることができた。
○文武両道の部活動、生徒会活動、ボランティア活動を積極的にに行い、HPや広報誌「雄城坂」による積極的な情報発信を行うことができた。
課題
●さらなる授業力の向上と主体的な学習態度を養うための総合的な探究の時間と授業改善の連動。
●生徒の学ぶ意欲や自主性・進路意識の一層の向上と難関大学を視野に入れた組織的な進路指導の充実。
●教育環境のより細かな点検・整備と学校全体の情報共有や分掌・学年間の連携の一層の推進。

学校教育目標
中期目標
重点目標

Table with 8 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL SL, 自己評価結果 (評価, 分析・考察), 次年度の改善策, 学校関係者評価. Contains detailed evaluation data for various school activities and goals.

総合評価
次年度への展望等
○ESD教育課程研究指定事業に学校全体で取り組み、組織的な授業改善や総合的な探究の時間の「OGI学プロジェクト」による探究活動の充実が図れた。次年度は、評価・振り返りに重点を置いた研究を進める。
○生徒一人一人に応じた全教職員参加の進路指導体制の充実により、進路意識の向上が図れた。次年度は、ICTを活用して、生徒の学ぶ意欲や主体的な学習態度、進路意識の一層の向上と難関大学を視野に入れた組織的な進路指導の充実を図る。
○文武両道や挨拶の徹底、清掃指導により、保護者や地域の方々から評価を受けることができた。引き続き、部活動及び生徒会活動やボランティア活動の活性化を図るとともに、人権教育や交通安全教育を通して人権意識と交通マナー意識の向上を図る。